

イノベーション部門

下水道施設を活用した家畜排せつ物のエネルギー利用と地下水保全

熊本市上下水道局・環境局

受賞事例の概要



※1 H31.4～供用開始 ※2 家畜排せつ物由来消化ガス利用分(1台)のみH31.4～供用開始

PRポイント!

本市環境局において、水道水源である地下水を守るため、硝酸性窒素対策として家畜排せつ物の堆肥化施設（東部堆肥センター）を建設しました。これまで畑へ直接投入されていた家畜排せつ物のうち、固形分は堆肥化し有効活用することとしています。分離液については、上下水道局所管の下水処理場（東部浄化センター）で受入れ、下水汚泥と混合し適切に処理を行います。また、処理過程で発生する消化ガスは発電機の燃料とし、発電した電気は浄化センター内で使用電力として活用することで、CO₂の削減を図ります。

Key Person



熊本市上下水道局
計画調整課 課長
上田 信一

家畜由来の汚水の受入は全国的にも事例が少なく、手探りでスタートでしたが、下水道部局と環境部局が連携して取り組むとともに、国交省、環境省、農水省等のご支援をいただくことで、無事受入れを開始することができました。供用開始後は多くの家畜農家の方からご利用いただいております。今後も環境部局と情報交換を行いながら、適切な処理及びエネルギーの有効利用に努めます。